

家畜衛生だより

From 中央家保 牛用



中央家畜保健衛生所・中央動物防疫協議会
〒262-0011 千葉市花見川区三角町656
Tel:043-250-4141 (夜間・休日対応)
Fax:043-286-0090
(公社)千葉県畜産協会



牛ウイルス性下痢 (BVD) バルク乳検査のお知らせ



令和4年度バルク乳検査(2回目)を実施します。

【実施時期】令和4年11月頃

【検査料金】無料

【対象農場】

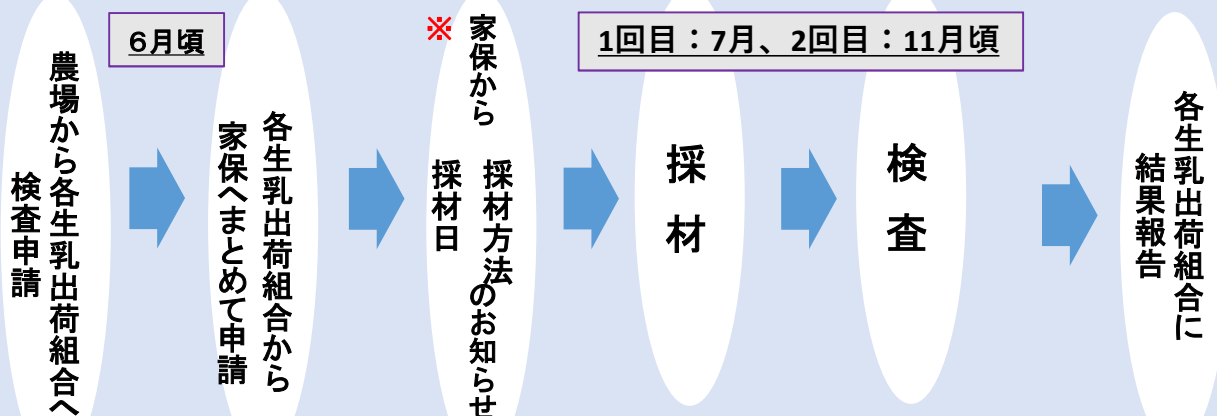
1回目の検査を受けられた方は自動的に2回目も対象になります。

※1回目の検査を受けていない農場も、今回の検査を受けることができます。

検査希望者のとりまとめは、各生乳出荷組合(各酪農農業協同組合または各農業協同組合)が行います。

希望の有無を所属の生乳出荷組合へ連絡してください。

検査の流れ



※採材方法は出荷CSによって異なります。
申請者には、検査日・採材方法を改めてお知らせします。

- ・ バルク乳検査は搾乳牛のみのスクリーニング検査です。
- ・ 乾乳牛や育成牛の検査はできません。期間を空けて2回目の検査を行うことがスクリーニング検査としては望ましいです。
- ※2回目の検査をする場合、検査機関は下記のとおりです(有料)。
 - ①民間検査会社(日本動物特殊診断(株)、(株)家畜健康管理HALC、全農クリニックセンター 他)
 - ②家畜保健衛生所(検査結果判明まで1~2週間程度要する場合あり)
- ・ 乾乳牛、育成牛及び子牛について、BVD検査を希望する場合、中央家畜保健衛生所まで御相談ください。(個体検査は有料です。)

千葉県中央家畜保健衛生所

TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送)

FAX. 043-286-0090

(参考) BVDバルク乳検査の流れ

①検査希望調査 (6月頃)

農場から所属する生乳出荷組合へ希望の有無を連絡



生乳出荷組合が希望農場を取りまとめて家畜保健衛生所へ申請

②バルク乳検査【無料】：

1回目：令和4年7月に実施済み **2回目：11月頃予定**

※バルク乳の採材方法・日時は、出荷先クーラーステーションにより異なりますので、詳細が決まり次第お知らせします。

バルク乳陽性

となった場合



③清浄性確認検査

採血あるいは耳片採取による全頭検査【無料】

陽性牛



3週間以上の間隔をあげ再検査



2回目陽性



PI牛

～PI牛が確認された場合、以下の清浄化計画を実施～

④PI牛の自主的とう汰 (※と畜場・市場への出荷は×)

⑤全飼養牛のPI牛確認検査

→陽性牛は3週間間隔をあげ、再度検査を行いPI牛の判定

⑥新生子牛に追跡検査 (10か月間)